

車載ソフトウェアの脅威分析とリスク評価 (TARA)

EVSec

TARA*の自動化と効率化を実現

*Threat Analysis and Risk Assessment (脅威分析とリスク評価)

TARAに関する こんなお悩みはありませんか？

実施に時間がかかる
実施できる人財が少ない

コンサルに任せて
しまっているため
社内でナレッジが蓄積しない

ステークホルダーとの
認識共有が困難

日立ソリューションズならTARAを中心に、
ISO/SAE 21434の認証に必要な活動を幅広くサポート

Point 1

TARAデータの自動作成

車の構成要素 (例: ステアリング、
ブレーキなど) ごとの
標準的なTARAのサンプルを提供

- ◆ TARAデータの自動作成による、
TARAの実施コスト削減
- ◆ エキスパート人財の負担軽減

Point 2

ナレッジの蓄積

実施したTARAの結果を
テンプレートとして蓄積し
以降の派生・新規開発に活用

- ◆ 各アイテムのTARAの検討結果
(ナレッジ) はテンプレートに
蓄積され、人に依存せず活用可能

Point 3

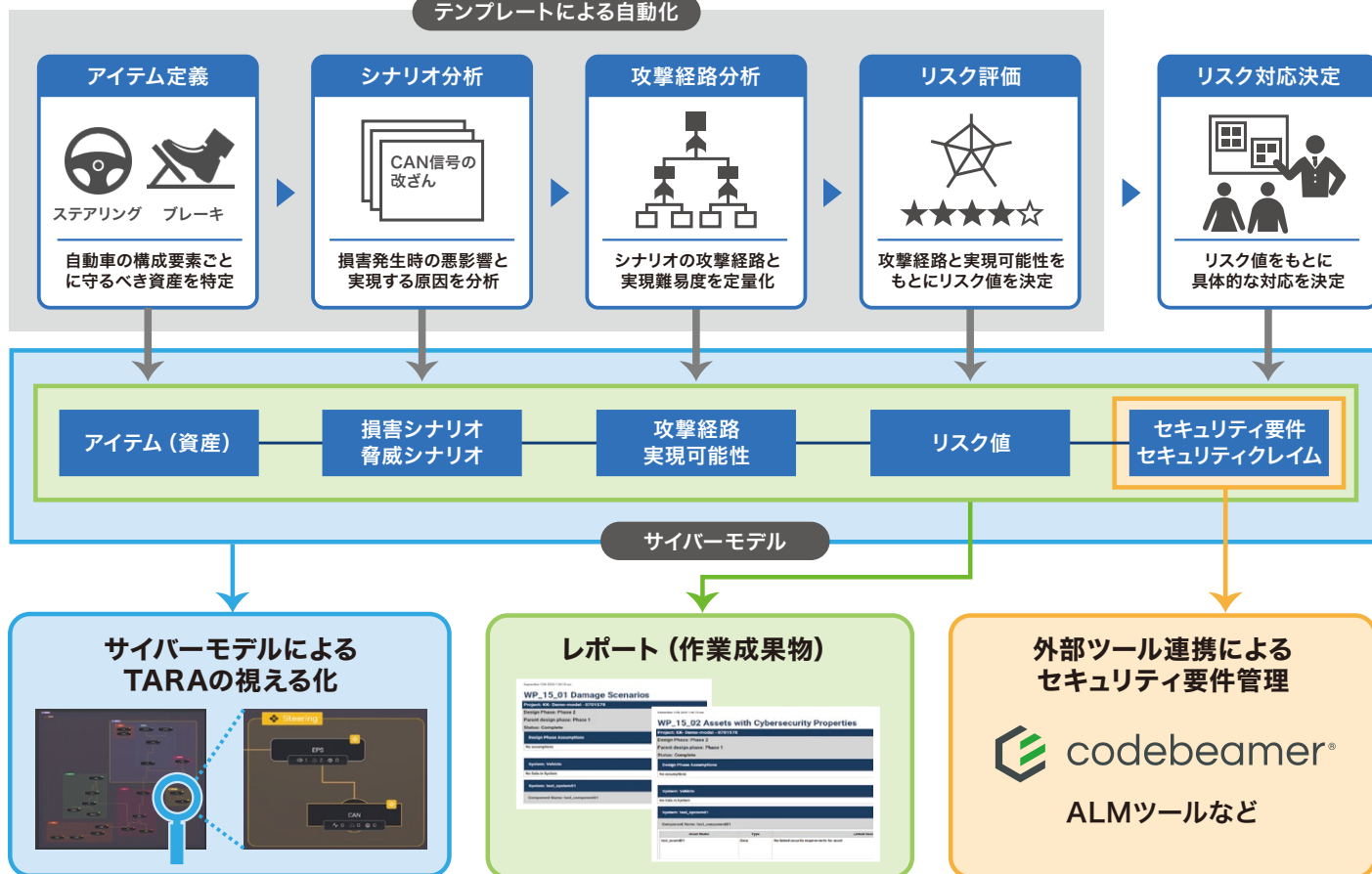
TARAの見える化

TARAの結果を
サイバーモデル上で
確認することで共有促進

- ◆ TARAの結果はサイバーモデル上
で確認可能
- ◆ ステークホルダー間の共有により
認識齟齬を防ぐ

EVSecの特長

テンプレートによる自動化



1 テンプレートによるTARAの自動化と効率化

車の構成要素（ステアリング、ブレーキなど）ごとのTARAのサンプルデータをテンプレートとして提供します。テンプレートには、TARAの標準的な結果が含まれており、実態に合わせて一部変更するだけで、効率的にTARAを実施できます。また、変更したTARAの結果（ナレッジ）は独自テンプレートとして蓄積することができ、次回以降の開発でも利用できます。

2 ISO/SAE 21434の活動に幅広く対応するサイバーセキュリティプラットフォーム

TARA以外にも、静的解析、SBOM作成、脆弱性分析・管理などのISO/SAE 21434の開発領域の活動を幅広くサポートします。また、ALMツールとの連携によるサイバーセキュリティ要件の管理や、モデリングツールで作成したアーキテクチャモデル取り込みによるTARAの見える化など、多くの外部ツールとの連携により、お客さまのサイバーセキュリティ対応を最適化します。

3 ニーズに応じたTARAの支援

日立ソリューションズでは、EVSecの提供だけではなく、既存の各種ツール・プロセスを考慮したEVSecの導入やTARAの伴走の支援をご提案可能です。また、EVSecによるTARAのアウトソーシングにも対応します。

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/evsec/

S25K-08-00

2025.09